

宝生流企画公演
夜能

夜樂の調べ

平成三十一年二月二十二日(金)

開演 十八時三十分
開場 十七時三十分
於 宝生能楽堂

鼎談解説

司会 日置

貴之
白百合女子大学准教授

雅楽

高麗 越調
盤涉調
催馬楽

更衣
胡蝶楽
越天楽

演奏
高麗 龍笛
笏拍子
籥

伊崎 善之
三浦 元則
中田 太三

19:20

草薙
シテ 當山 淳司
ツレ 今井 基

ワキ 館田 善博

間前田 晃一

大鼓 飯富 良太郎
小鼓 孔明

太鼓 小林 雄一郎
笛 小野 竜一

後見

佐野 晋也
小林 登

地謡

朝井 倉大輔
金野 賢太郎
金森 隆晋

亀井 雄二
水井 雄資
内藤 飛能

20:25

仕舞

テーマ【剣】

橋弁慶

鶴

亀井 雄二

水上 優

金内 飛能
金藤 雄資
金井 隆資

終演予定 二十時三十五分頃



能「草薙」シテ
當山 淳司(とうやま じゅんじ)
シテ方宝生流能楽師

1982年生まれ
18代宗家宝生英雄、19世宗家宝生英照に師事
初舞台:1987年「鞍馬天狗」花見
初シテ:2008年「花月」
同門会「淳道会」を主宰

草薙 ~あらすじ~

恵心僧都が熱田神宮に参籠して七日の間、最勝王経を講じているところに、花を売る男女が通って来ます。僧都が言葉かけると、二人は夫婦で、男は熱田の神剣を守る神、女は齢を延べる仙女であると明かし、七日の結願の夜に再び現れようと言って消え失せます。結願の日僧都の前に現れたのは、日本武尊命と熱田の源太夫の娘、弟橘姫の霊でした。日本武尊命は、夷退治の有様と草薙の神剣の謂れを語り、最勝王経の功德を讃えて去って行きます。



奏者
中田 太三(なかた たいぞう)

大阪より上京後「雅楽」に出会い、故 大柿佳二氏に笙の手ほどきを受け東儀秀樹氏に楽琵琶を師事、後に豊剛秋氏に楽琵琶・催馬楽を習う。雅楽器や邦楽器を用いた作曲活動・楽曲提供・レコーディング参加邦楽イベントのプロデュース、音響エンジニア、国際交流基金など海外文化交流のディレクションなど幅広く活動



奏者
三浦 元則(みづら もとりの) 「東京楽所」 「日本音楽集団」 「Group-4」所属

幼少より雅楽に親しみ、父 三浦進に箏の手ほどきを受ける東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業 現在、同大学非常勤講師
箏・琵琶を東儀雅季氏、右舞を多忠輝氏に師事
大学在学時より「東京楽所」に所属し、国内外で数多くの公演に出演
古典の演奏はもとより、他種の音楽家との共演も多く幅広く活動



奏者
伊崎 善之(いざき よしゆき) 「伶楽舎」所属

高校入学時より雅楽を始め、東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業
在学中に横笛を越後眞美、歌物を東儀雅季、左舞を岩波孝昌の各氏に師事
卒業後に横笛を芝祐靖氏に師事
現在は国内外で数多くの演奏に携わる
2009年度東京藝術大学非常勤講師

宝生能楽堂「ナイトモード」



開場(17:30)~開演(18:30)まで、ピストロ Abats. による夜能
ブレ・ディナーボックス(ワンドリンク付き)をご提供します。
引換券は能楽堂事務局にて事前販売しております。
1名様 ¥1,600(税込)
(※公演当日の販売も御座いますか数に限りがありますので、お早めにお求め下さい。)

次回公演予告

4月26日(金) 18:30 開演/17:30 開場

能 「藤戸」シテ 大友 順

箏曲生田流『尾上の松』東京藝術大学学生

仕舞 テーマ【水】

「玉之段」山内崇生 「天鼓」渡邊茂人
「船弁慶」佐野玄宣